

京都大学教育研究振興財団助成事業
成果報告書

2023年 10月 12日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団

会長 藤 洋 作 様

所属部局 防災研究所 社会防災 防災社会システム研究分野

職 名 教授

氏 名 多々納 裕一

助成の種類	令和5年度・国際会議開催助成		
国際会議名	第13回総合防災に関する国際会議 (IDRiM2023)		
開催期間	2023年 9月 28日 ~ 2023年 9月 30日		
開催場所	インド工科大学 ルールキー校 (Indian Institute of Technology, Roorkee)		
参加者	総数 162名	内訳 オンライン 48名 現地参加 114名	
成果の概要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版2000字程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有()		
会計報告	事業に要した経費総額	6,729,747 円	
	うち当財団からの助成額	1,000,000 円	
	その他の資金の出所	国際総合防災学会・国連開発計画 (UNDP)・インド工科大学 (IIT Roorkee)・ヒマラヤ大学コンソーシアム・会議登録費	
	経費の内訳と助成金の使途について		
	費 目	金 額 (円)	財団助成充当額 (円)
	招へい (航空券代 17名)	1,184,497	1,000,000
	現地送迎	981,000	
	宿泊費	556,200	
	食事・コーヒー等	1,649,600	
会議セット(バッグ・記念品等)	648,450		
設営(設備代・人件費等含む)	1,260,000		
印刷費(プログラム・看板等含む)	450,000		
合 計	6,729,747	1,000,000	
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) この度は補助を申請して頂き誠にありがとうございました。御財団の助成は額も大きく、沢山の方を招へいすることが出来、大変助かりました。事前に入金いただける事から、費用に余裕を持って計画することが出来ました。ただ、食事・コーヒーブレイク等の費用は会議には欠かすことの出来ない項目であり、使用制限をなくして頂けば、大変ありがたいと存じます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。		

令和5年10月12日

京都大学防災研究所 社会防災 防災社会システム研究分野
教授 多々納裕一

成果の概要／多々納 裕一

- 1 実施事業名 第13回総合防災に関する国際会議(IDRiM2023)
- 2 実施日時 令和5年9月28日 ～ 令和5年9月30日
- 3 実施場所 インド工科大学 ルールキー校
- 4 参加人数 18カ国、185名

5 実施内容・成果（参加者の感想 主催者所感 等）

本国際会議では、5つの基調講演に加えて、7つのSDGsに関するセッション、5つの特別セッション、そして69名もの学生・若手研究者発表を含む11のレギュラーセッションなどが行われた。各セッションでは、ハザードや社会経済状況、文化や伝統に応じたリスクガバナンスの在り方に関する多角的な議論を通じて、幅広い国際的なネットワークが構築されることとなった。本会議のテーマは「包括的かつ持続的な発展を目指した、統合的・科学・政策・実践によるシステム的な災害リスク対応の展開」であり、同時複合的に連鎖する災害事象を考慮したシステム的・リスク科学の構築、包括的かつ持続的な発展のためのベストプラクティスなどが共有された。開催地であったインド工科大学は、工学と科学技術を専門とする国家的な重要性を有した研究機関であり、インドの人々が直面している問題や、それに対する国家レベル、地域レベルの学際的・分野横断的な取り組みが共有されたことはとても大きな成果の一つだと言える。また、今回はハイブリッド開催となったことから、現地参加の若手研究者賞とオンライン若手研究者賞、各トップ3、計6名の受賞が発表され、受賞した研究者の誇らしい姿と仲間を称える若手研究者達がとても印象的であった。